

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。猛暑とゲリラ豪雨の続いておりますが皆様お元気でしょうか？

何処とは申しませんがロケットを他の国に向けて発射するというニュースが盛んに報道されており心配されている方々も少なくないと思います。私達人間は言語という最大の武器を持っているのにと悲しくなります。

まだまだ暑さが厳しい折、体調を崩さぬよう気をつけてください。

サンライズの物語

助け合う心が、人から人へ・・・

想いが紡がれていくことを感じる、ある女性の物語

先日旅立った方がおりました。

その方は娘様達が近隣に住んでおりましたが、できるだけ娘達には世話にならずに一人で暮らして生きたいと強く思い続けていた方でした。

関節リュウマチ、難病指定ビュルガー病に罹患されており常に上下肢や関節に痛みがありましたが、自分で出来ることを頑張られておりました。自宅で何度も転倒を繰り返しながらも弱音を吐かない人でした。

ヘルパーの訪問回数を増やすように提案しても「大丈夫。大丈夫」と繰り返し言い続けていた素敵な方。自宅で頑張っていたのも束の間、急に体調を崩し緊急搬送され1週間も経たない内にご主人の元へと旅立ったのでした。

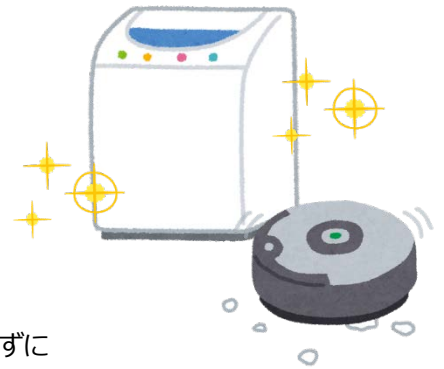
娘様より連絡があり、自宅にある電化製品などの処分を頼まれ業者を紹介致しました。

電化製品はお金に換金できる事も伝えましたが、もし処分する費用が発生した時には、弊社の利用者様の困っている方々へ譲って欲しいと伝えたとこ、娘さんより「まずは困っている方々を優先して下さい。お金に換金しても母は喜ばない・・・」との言葉に感激してしまいました。

弊社で関わっているご利用者様方には電化製品が揃っていない方々が沢山おります。

そのような方々を支えているのは、お一人お一人の善意だと思うと胸が詰りました。

その方が居なくなっても色々な意味で他の人達の生活の中で生き続けていることが素晴らしいことだと考えます。ありがとうございます。といつも心の中で呟いております。



介護に役立つ書籍紹介

東海地方で介護 & 高齢者ホーム選びに 困ったら最初に読む本2017-2018

東海通信社（著）

『介護』。それは突然始まり、生活が変わる大きなできごと。
介護が必要となったとき、必要なものや施設の選択など、様々な不安が生まれます。
本誌では、介護が必要となったときに知りたい内容を凝縮した、介護初心者にぴったりの一冊です。
介護従事者でもある歌手の綾戸智恵さんのインタビューも掲載されています。



NEWS 今月のニュース

屋久島中心地に「ふれあいプラザ」 集落の女性達が営むバス停前の休憩所

屋久島の中心地、「宮之浦」バス停前に7月、フリーWi-Fiの休憩所「ふれあいプラザやくしま館」（屋久島町宮之浦）がオープンした。

宮之浦区の女性たちが中心となり、「地域の高齢者の集いの場に」と運営するスペースで、高齢者のもとより、バス待ちの中高校生や旅行者で連日にぎわっている。

郷土菓子の「かからん団子」と飲み物のセット（300円）や、かき氷（200円～）など、手頃な価格のおやつを用意。島産のパッションフルーツ、ブルーベリーとスモモのジャム、スモモのゼリーがトッピングされた「やくしまかき氷」（400円）など、島産にこだわったメニューをそろえる。そのほか、はがきや緑茶といった土産物も並べている。

事務局長の岩川順子さんは「宮之浦の里めぐりツ

アーの休憩所としても使ってもらおう予定。

物販を増やしたり、冬場のメニューを考えたり、皆で話し合いながら、手探りで少しずつ整えていきたい」と話す。

鮮魚店と書店に挟まれ、周囲には宿泊施設や飲食店も多い、島の中心地。地元民との語らいから、旅のヒントが生まれそうな新名所となっている。

営業時間は10時～18時。火曜定休。



< 産経ニュース 2017年8月18日（金） >

今月の 名言

世界は辛いことでいっぱいだけれども、
それに打ち勝つことでもあふれている

ヘレン・アダムス・ケラー

ヘレン・ケラーは、アメリカ合衆国の教育家、社会福祉活動家、著作家。
視覚と聴覚に障害を持ちながらも、世界各地を歴訪し、障害者の教育・福祉の発展に尽くした女性です。彼女だからこそ言える言葉は胸に響き、今もなお人々の心を癒し続けています。

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>